

1. 計画名称

農業振興ビジョン

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	担い手の高齢化や減少が進み、併せて、農業資材等の価格高騰など、農業を取り巻く状況は依然厳しい状況が続いている。機械購入補助や生分解性マルチ補助、湿田対策事業については、農家に評価をいただき農業継続に寄与している。また、機械レンタル補助は、多様な担い手の確保にもつながっている。新規就農者については、5年間で15名が就農にいたったことは成果であった。
今後の重点化施策番号	1	説明	担い手の高齢化や減少が進むにつれ、遊休荒廃地の拡大が予想される。今後も農業者やJA、県及び関係団体と連携して補助金を活用し、農業経営体の確保、育成の取り組みが必要と考える。加えて、生産への支援だけでなく新規販路の開拓等、農業者の所得向上の取り組みも、併せて推進していくことが必要と考える。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	農業経営体の確保・育成	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業と農業研修生に対する研修費補助事業を行っている。機械補助は、事前に予備調査を行い予算範囲内の執行に努めた。事業については、農業関係者から高い評価を得ている。	集落営農組織の設立については、地域計画策定に伴う、地域座談会等において、設立の必要性を地域でも再確認したが、地域の主体となる経営者の存在が必要となるため、各地域での協議が必要である。	農業用機械等の購入補助については、予算編成前の事前要望調査を行うことにより、予算内の執行を行うこととしている。 集落営農は新規設立を目指すことに併せて、今ある組織の継続及び発展に力を入れていく必要もある。
2	農業生産力の向上	順調	認定農業者に対して農業用機械等の購入補助事業を行うことで、経営体の確保育成と共に農業生産力の向上に対しても支援が行っている。各関係機関からの評価も非常に高い。	資材価格高騰の中であるが、生分解マルチは作業の効率化や環境への配慮も見込まれ、農業者からは、好評である。しかし、一部の農業者からは、マルチ以外への支援も希望される声もあるため、広く多くの農業者への支援が図れるようJAと仕組みの検討を図る。	生分解性マルチへの支援は、大変評判が良い事業であったが、一部の農業者からは、マルチ以外の農業資材への補助の声も上がっているため、農業者へヒアリングを行い、JAと検討し、需要が高く必要とする資材補助の導入検討も必要である。
3	優良農地の保全と活用	おおむね順調	用水路等の施設の改修や改良の要望は多く、限りある予算の中で重要度や劣化度の優先順位をつけて、対応している。鳥獣被害対策事業も防護柵重要度や劣化度の優先順位をつけて、対応している。	ほ場整備で同時期に広範囲地区を整備したため、耐用年数が経過した施設が多い。予算の範囲内で事業実施は年々困難な状況になってきている。広域防護柵の計画的な設置及び補修箇所の整備が必要な時期が来ている。	令和5年度から、工事費についても補助対象とし、湿田解消を推進したが、大変好評な事業であるが限られた予算の中で優先順位をつけて対応していく必要がある。令和7年度からは、今後策定される地域計画を基に国県の補助事業である耕作改善事業を活用していきたい。
4					
5					

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称	農業振興ビジョン	令和6年度内に、第3次農業振興ビジョンの改定に向けた会議を開催予定。	令和6年度内に、第3次農業振興ビジョンの改定に向けた会議を開催予定。
開催回数			
参加延べ人数			
		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			